

工事写真報告書

工事番号 平成 29 年度

工事名 Y 様 邸

工事箇所 屋根・外壁・その他 塗装工事

工事住所 福岡市 東区 香椎台

工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社



外観



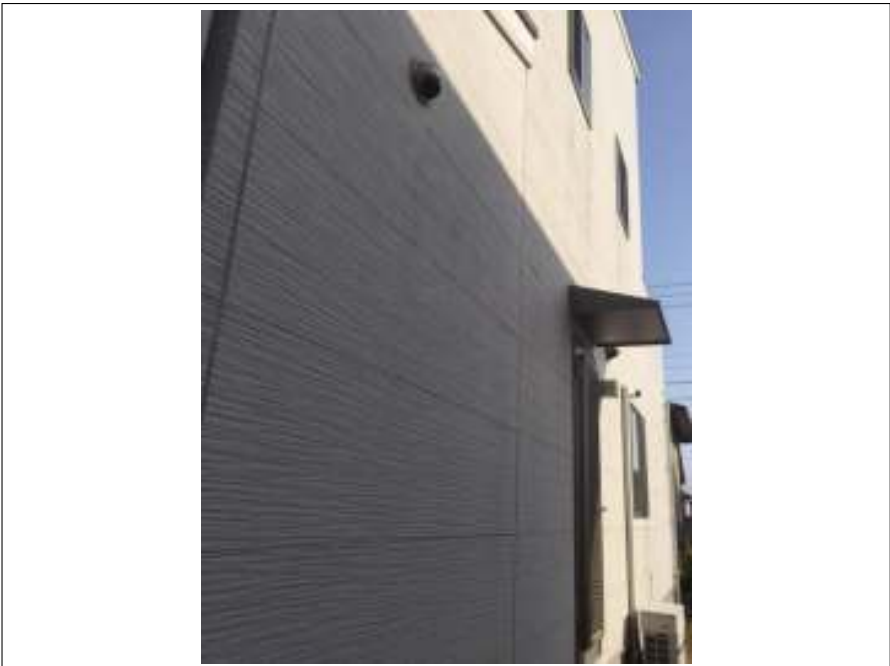
外観



外観



外観



外観



外観



屋根

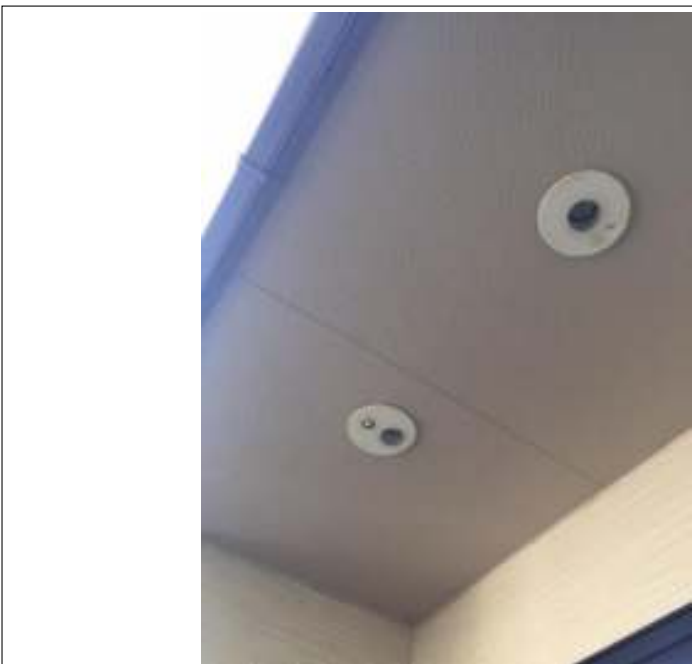
この素材はセメント:アスベスト(又は[°]ル[°]繊維)が85:15で作られています。

表面の塗装が新築当時はアクリル塗装を焼き付けており、7年ぐらい経過すると表面の防水効果が低下し、だんだん反りや割れが生じてきます。



屋根

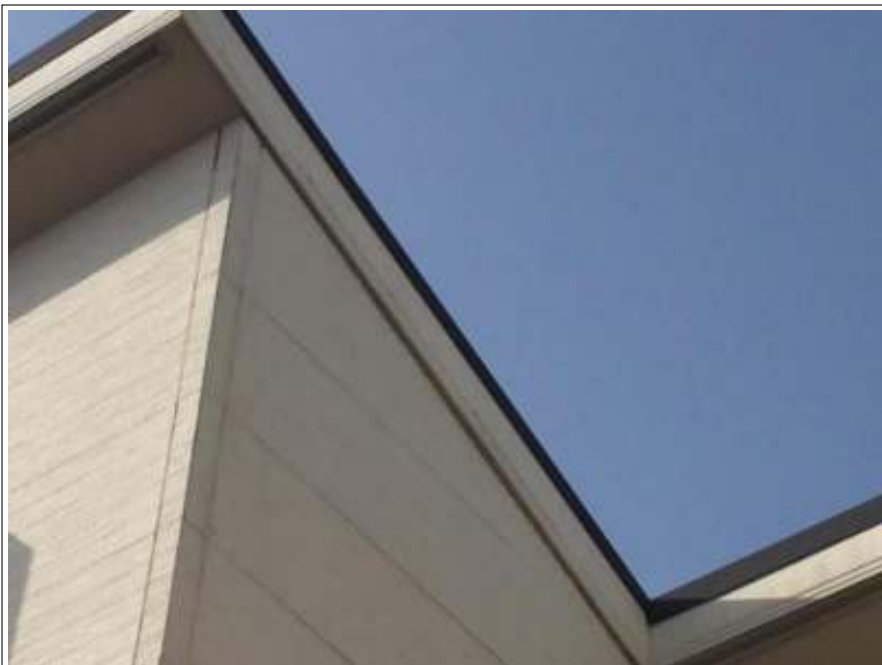
劣化し割れや反りがひどくなり葺き替えとなると、アスベストが入っている場合、処分費がかなりかかりますので、早めの塗装と維持をお勧めをします。



軒天

経年劣化しております。

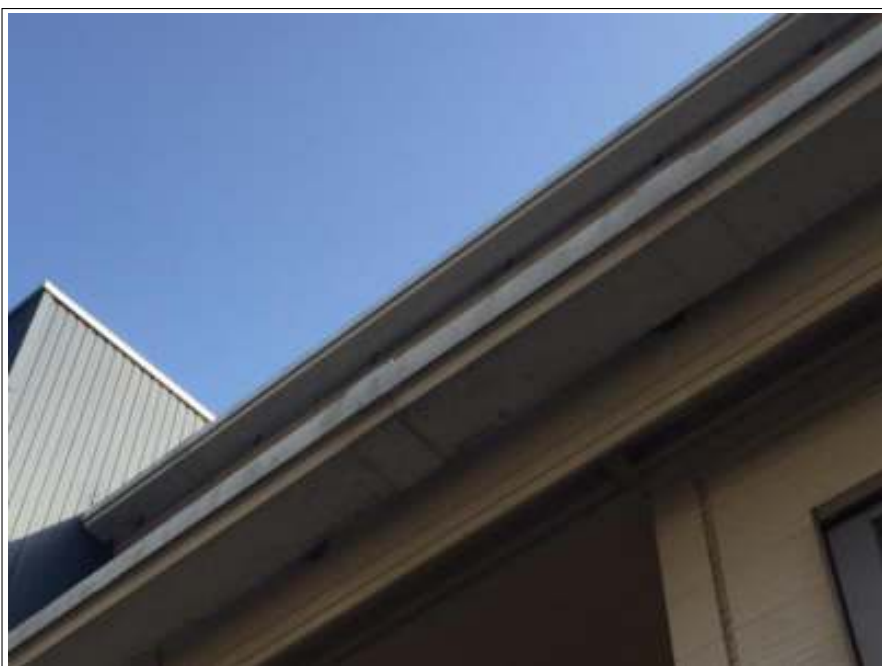
この部分は通気性の良い軒天専用の塗装をしていきます。



破風板

経年劣化しています。

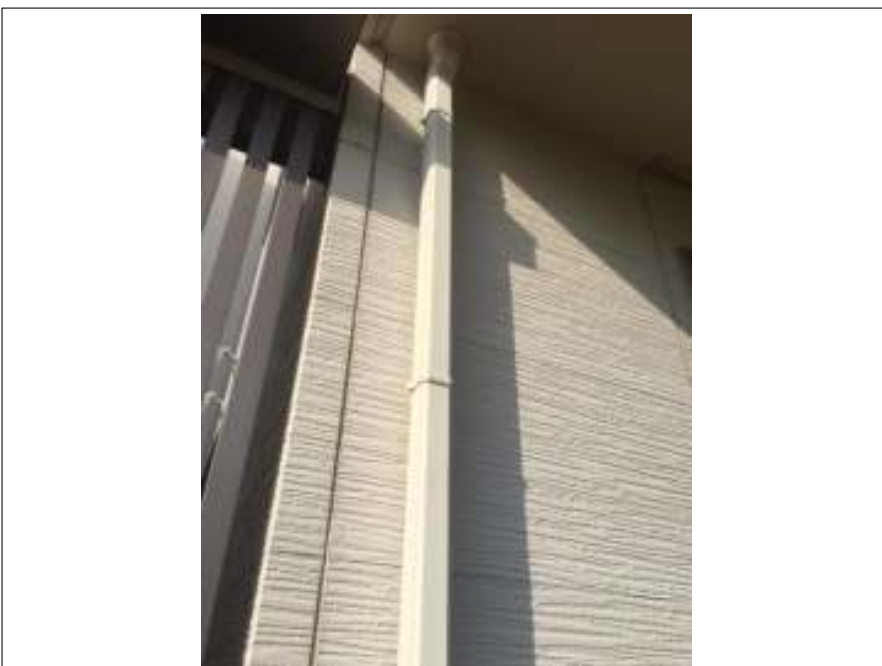
劣化すると腐食、お住まいの痛みにつながりますので、下塗り・上塗りをおこないます。



軒樋

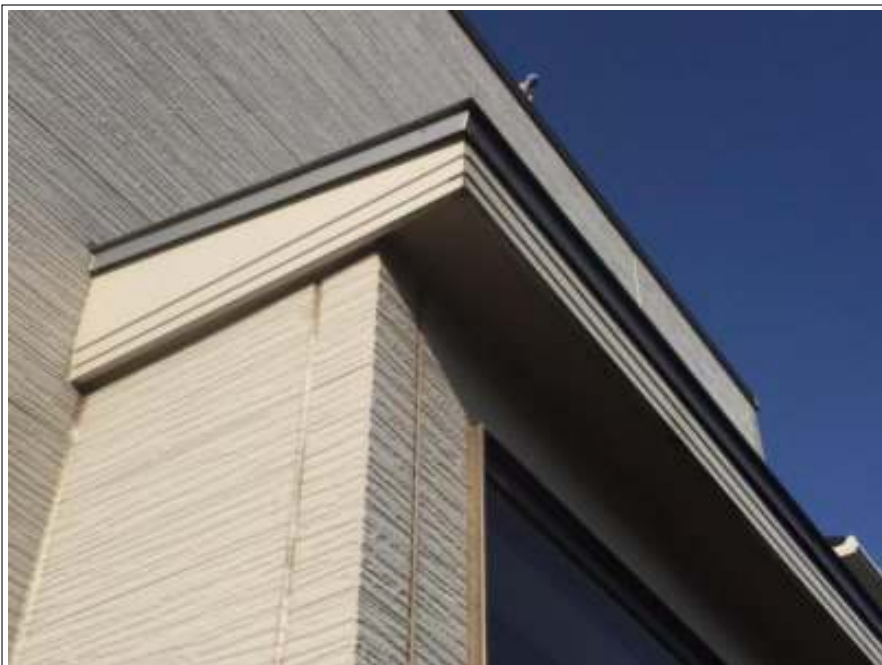
こちらは塩ビ素材になります。

劣化すると割れが生じたりすることがありますので、塩ビ専用の下塗りをおこない塗装をしていきます。



縦樋

同上



鉄・スチール素材

鉄、スチール素材は劣化するとサビが発生してきます。

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



アルミ・ステンレス素材

この素材は塗装不可になります。



塀

地面から水や湿気を吸いはき出す部分になり、この部分に耐久性の高い塗装や膜を張る塗装をおこなうと、膨れる恐れがありますので、通気性の良い塀の塗装をおこないます。



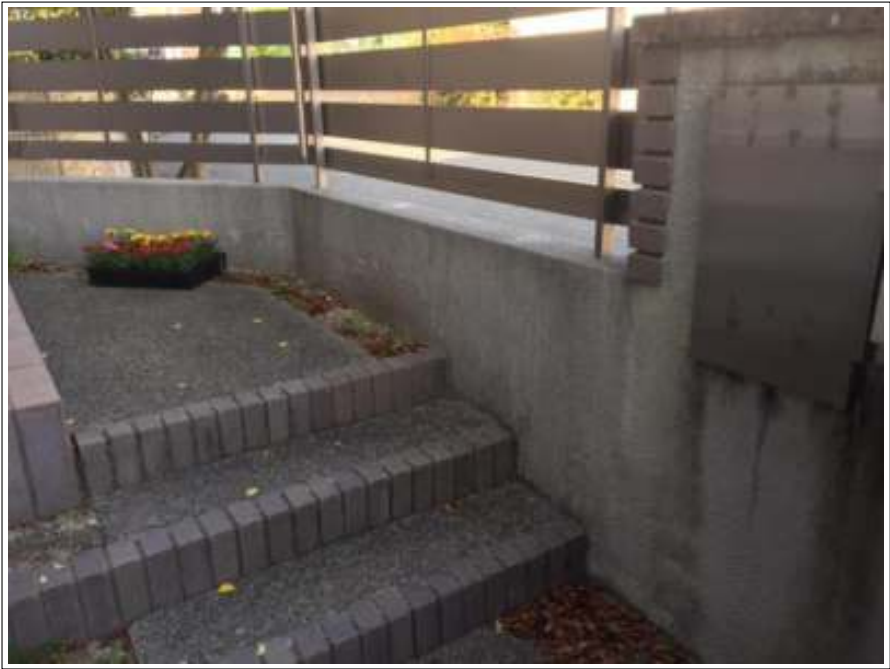
塀 _____

同上 _____



塀 _____

同上 _____



塀 階段 _____

同上 _____



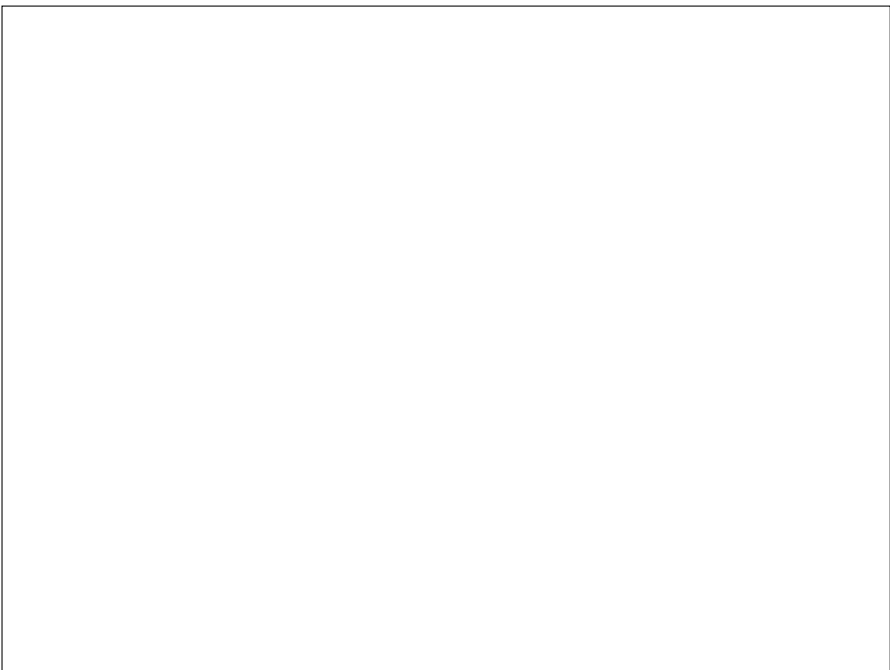
ベランダ

経年劣化しています。
劣化が進むと雨漏れの原因にもなりますので、雨漏れする前の保護塗装をお勧め致します。



ベランダ

同上





チョーキング現象

紫外線などにより塗膜の表面が劣化し、チョークの粉状のような状態になっています。

この状態になると表面から水や湿気を吸い込んでしまい、外壁や中の躯体の痛みにつながりますので、早めの塗装をお勧めします。



外壁 劣化部

この部分から雨水や湿気、炭酸ガス等が直接侵入し躯体・外壁の痛みや建物の寿命につながりますので、下塗やシーリング等で補修をおこない塗装をしていきます。



外壁 劣化部

同上



外壁 劣化部

同上



外壁 反り

外壁の表面が劣化して水を吸って乾いてを繰り返して、外壁の浮きや反りが見られます。

一度反ると反りはもとに戻らないので、これ以上反らないように早めの塗装をお勧め致します。



シーリング劣化部

劣化している部分があります。
この部分から雨水や湿気、炭酸ガス等が侵入し躯体・外壁の痛みや建物の寿命につながりますので、劣化部はシーリング補修をおこない塗装をしていきます。



サッシ廻りシーリング劣化部

見落としがちですが、サッシ廻りも劣化している部分がありますので、劣化している部分は打ち増しをおこない塗装をしていきます。



ベランダ

カビの発生が見られます。
カビの上にくら良い塗装をしても、カビの根が残っている以上塗膜を突き破って表面化してきますので、カビの根を抑える必要があります。



ベランダ

対処方法
いくら高圧洗浄をかけても、カビの根が残ってしまいますので、カビの根を殺す防カビ下塗りをおこない、下塗り・上塗り二回の三層四工程をおこないます。
